

最も確実で、効果が早く出る治療です。再発の心配がほとんどなくなる代わりに、ホルモンの薬を続けることになります。

Q どんな手術ですか

甲状腺をすべて取り除く方法(全摘)か、ごくわずかだけ残す方法(準全摘)が主流です。以前は多めに残す方法(亜全摘)が標準でしたが、残した部分から再発することがあるため、残す量を減らす方向になっています。どの方法を選ぶかは、甲状腺の状態によって変わります。

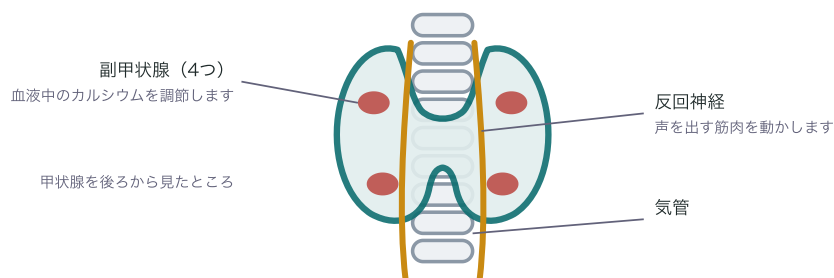
全身麻酔で行い、首の前を横に切ります。入院は術後5日から1週間ほどが目安です。

Q 手術の前にはすること

甲状腺の働きが強いまま手術をすると体に負担がかかるため、まず値を落ち着かせます。

- 抗甲状腺薬で甲状腺の働きを抑えます
- 手術の2週間ほど前から、ヨウ素の薬(ヨウ化カリウム丸)を飲みます — 甲状腺の血流を減らし、手術をしやすくするためです

Q 起こりうることを知っておいてください



甲状腺のすぐ裏に、副甲状腺と反回神経が接しています。ここが手術で影響を受けることがあります。

- 声がかすれる — 反回神経が影響を受けたとき。多くは一時的で時間とともに戻りますが、数%の方では戻らないことがあります
- 手足や口のまわりがしびれる — 副甲状腺の働きが落ち、カルシウムが下がったとき。カルシウムの薬で補います。こちらも多くは一時的ですが、1~2%の方では薬を続けることになります
- 首に傷あとが残ります — しわに沿わせて切るため目立ちにくくなっていきますが、消えるわけではありません

Q 手術のあとはどうなりますか

甲状腺を取り除くため、甲状腺ホルモンの薬を生涯飲み続けます。足りない分を補うだけの薬で、1日1回です。そのかわり再発の心配がほとんどなくなり、頻繁な通院や検査からも解放されます。のどの腫れも解消します。